

平成24年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

9月6日（木）、平成24年度日本NGO連携無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、黒木雅文特命全権大使と特定非営利活動法人日本地雷処理を支援する会の谷川保行カンボジア現地統括代表が、「2012年度バタンバン州における地雷処理促進事業」（供与限度額：839,363米ドル）案件の贈与契約書に署名を行ないました。

本案件では、カンボジア国のバタンバン州において実施される1年間の地雷処理活動等にかかる費用が支援されます。本事業実施により、同州ラタナックモンドル郡トラエンコミュニーンの住民約5,500人が地雷・不発弾の危険から解放された安全な土地で生活することが可能になります。

また、本案件から、国連基準に基づくランドリリース方式といった新しい地雷除去手法を採用することにより除去スピードを迅速化することができ、オタワ条約履行期限の2019年までに約650平方kmの地雷原を除去するというカンボジア政府の計画に寄与することが期待されています。加えて、昨年度事業では、地雷除去現場での技術・安全指導や現場指揮官に求められる知識・技能等をまとめた「野外用ハンドブック」がカンボジア地雷対策センター（CMAC）と共同で作成されており、今年度事業においても同ハンドブックが活用されることで、CMAC隊員に対して将来に亘って技術移転の効果をもたらすことが期待されています。

式典では、黒木大使がスピーチを行ない、今回の支援がカンボジアの草の根レベル人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて、谷川保行カンボジア現地統括代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、今後もカンボジアの人々と協力して、地雷除去活動およびCMACに対する技術移転に努めることが約束されました。

スピーチの後、黒木大使と関係者全員による記念撮影が行なわれ、式典は和やかな雰囲気の下に終わりました。

